

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・朝来市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	朝来市文化遺産活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>朝来市では、平成25年に第2次総合計画を策定し、「後世に残したい歴史文化遺産の保存活用」を基本計画の施策として、郷土の魅力を活かした文化活動の促進及び地域の歴史文化遺産の保存・活用、継承に取り組んでいく。</p> <p>本市には、国指定の茶すり山古墳や池田古墳等の埋蔵文化財、国史跡の竹田城跡、国指定の赤淵神社をはじめとした由緒ある神社、仏閣、国の重要文化的景観の選定答申を受けた生野鉦山と鉦山町の文化的景観及び関連近代化産業遺産群など古代・中世・近世・近代を代表する史跡のほか、長い歴史と伝統の中で生まれ守り伝えられてきた、ざんざか踊りや神楽、獅子舞、盆踊りといった伝統芸能など多様な歴史文化遺産が存在する。これら貴重な資源を地域の宝として保存、継承していくとともに、積極的に地域活性化に活用していくため次の事業を実施していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国史跡竹田城跡と城下町を活かした保存活用事業（平成26年4月～平成31年3月） 平成24年に策定した竹田城跡と城下町の保存活用計画に基づき、史跡の歴史的価値を地域住民が再認識しながら適切に保存管理していくとともに、積極的に観光振興・地域活性化に役立てていく。また、近世にかけて発展した城下町の町並みや地域独特の民俗祭礼、工芸技術などを把握し、城跡とともに地域活性化に役立てていく。 （1）町並み竹田城跡、城下町の町並み等を紹介するボランティアガイドなど人材育成と伝統技術、伝承などの調査活用・継承 （2）史跡竹田城跡と城下町の町並み等の情報発信、普及啓発 2. 生野鉦山関連近代化産業遺産群の保存活用事業（平成26年4月～平成31年3月） 平成20年に策定した生野鉦山群近代化遺産保存活用基本方針並びに平成25年に策定した生野鉦山及び鉦山町の文化的景観保存計画に基づき、以下の事業を実施していく。 （1）鉦山町の文化遺産や近代化遺産、重要文化的景観の情報発信 （2）地域の文化遺産や近代化産業遺産を総合的に紹介するボランティアガイドなどの人材育成と歴史文化の継承 （3）鉦山町の歴史的町並みや伝統芸能の保存活用、普及啓発 3. 市内埋蔵文化財の保存活用事業（平成26年4月～平成31年3月） 市内には約700基の古墳があり、埋蔵文化財や古墳文化について歴史価値の認識と保存活用を進めていく。 （1）古墳や埋蔵文化財を活かした普及啓発 （2）埋蔵文化財センターを拠点とした体験学習 4. 歴史的町並みの保存活用事業（平成26年4月～平成31年3月） 本市は古来から但馬丹波道、播磨但馬道の街道接点として発展し、竹田、生野地域をはじめ和田山、梁瀬地域などに古い商家や町家など伝統的町並みが残されており、これらを活用した地域の活性化に向けた調査研究及び住民団体の育成に取り組んでいく。 （1）町並みの調査研究及び活用団体の育成 （2）町並みを活かした普及啓発 5. 地域の伝統芸能、伝統文化、伝統技術の保存継承事業（平成26年4月～平成31年3月） 寺内ざんざか踊りや宮神楽、羽瀧獅子舞などの伝統芸能等を将来にわたり確実に継承し、発展させていくため次世代の後継者育成や用具の整備等に取り組んでいく。また、有形民俗文化財の活用、普及啓発にも取り組む。 （1）伝統文化こども教室の開催 （2）伝統文化継承のための用具の新調・修復 （3）茅葺技術や左官技術、伝統工芸技術などの継承と担い手育成、有形民俗文化財の活用、普及啓発 6. 市内古文書の調査と保存活用（平成26年4月～平成31年3月） 時代を経るにつれて所有者が変更になり散失していく古文書について、地域の歴史を証明する貴重な史料として再認識するとともに、所在を明確にした目録調査を実施していく。 （1）古文書講座の開催による人材育成 （2）古文書の研究調査及び目録作成 			

6 実施体制			
<p>本事業については、朝来市が全体計画の企画・調整、事業の指導等を行っていく。 主な担当課及び役割 教育委員会文化財課：全体計画の調整、調査研究事業等の指導アドバイス 生野支所：生野鉱山産業遺産等に関する地元団体との調整、指導 朝来支所：神子畑選鉱所、鉱石の道等に関する地元団体との調整、指導 観光交流課：観光事業との調整 また、本事業の実施については、次の団体が実施していく。 朝来市文化遺産活用実行委員会（会長 小島 剛） 構成団体（生野昔踊り保存会、羽瀧獅子舞保存会、山王神社ざんざか踊り保存会、あさご茅葺き保存会、 ㈱シルバー生野、まちづくり工房井筒屋運営委員会、生野夏物語推進協議会、口銀谷の町並みをつくる会、 大蔵地域自治協議会、奥銀谷地域自治協議会、梁瀬地域自治協議会、NPOいくのライブミュージアム、 生野ルート・ダルジャン実行委員会、ほどらいの会あさご暮らし推進協議会、宮神楽保存会、生野観光協会、 朝来市、朝来市教育委員会等）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額：	千円 平成29年度申請額： 2,346 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝来市内観光客数の増加 ・伝統行事への参加者数、見物客の増加 ・伝統行事等にかかる氏子数の維持 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	和田山町観光協会による竹田城跡カレンダーの制作販売		
事業概要：	朝来市による奥銀谷地域の街並み環境整備事業の実施		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成27年度に「朝来市歴史文化基本構想」を策定。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	教育委員会事務局文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	シルバー生野観光坑道への来場者数			関連事業 :	生野銀山塾	
目標値 1 :	平成 27 年度 75,750 (人) ⇒ 平成 30 年度 76,000 (人)					
設定根拠 1 :	平成26年度から若干の減少傾向にあるため、平成27年度と同人数程度を設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
77,196 (人)	75,750 (人)	72,086 (人)	(人)	(人)	(人)	
2%	0%	-5%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	埋蔵文化財センターの入場者数			関連事業 :	山東町スタンプラリー	
目標値 2 :	平成 27 年度 35,135 (人) ⇒ 平成 30 年度 40,400 (人)					
設定根拠 2 :	山東町の中心にある情報発信基地である埋蔵文化財センターの入場者数による。平成27年度までの平均伸び率1.15%に対し、同様の伸び率を設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
30,362 (人)	35,135 (人)	26,049 (人)	(人)	(人)	(人)	
-12%	0%	-22%				
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	茅葺き保存会facebook投稿への平均「いいね」数			関連事業 :	旧井上家を活用した普及啓発推進事業	
目標値 3 :	平成 27 年度 28 (いいね) ⇒ 平成 30 年度 75 (いいね)					
設定根拠 3 :	平成26年度から平成27年度の伸び率1.4%に対し、同様の伸び率を設定。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
20 いいね	28 いいね	28 いいね	いいね	いいね	いいね	
-11%	0%	0%				
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	地域の古文書に興味を持つ住民の割合			関連事業 :	生野古文書研究	
目標値 4 :	平成 27 年度 5.0 (%) ⇒ 平成 30 年度 8.0 (%)					
設定根拠 4 :	平成26年度～平成27年度の平均伸び率1.0%に対し、同様の伸び率を設定。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
4.0 (%)	5.0 (%)	6.0 (%)	(%)	(%)	(%)	
-13%	0%	13%				

目標区分 5 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 5 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	地域の古文書に興味を持つ住民の割合			関連事業:	奥銀谷古文書調査	
目標値 5 :	平成 27 年度 2.7 (%)		⇒	平成 30 年度 3.4 (%)		
設定根拠 5 :	平成26年度～平成27年度までの伸び率0.2%に対し、同様の伸び率を設定。					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
2.5 (%)	2.7 (%)	3.0 (%)	(%)	(%)	(%)	
-6%	0%	9%				
目標区分 6 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 6 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 6 :	山王神社ざんざか踊保存会委員数			関連事業:	寺内ざんざか踊用具新調	
目標値 6 :	平成 27 年度 50 (人)		⇒	平成 30 年度 50 (人)		
設定根拠 6 :	住民が減少していく中で、平成27年度と同人数程度を設定。					
進捗状況 6 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
51 (人)	50 (人)	50 (人)	(人)	(人)	(人)	
2%	#DIV/0!	#DIV/0!				
目標区分 7 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 7 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 7 :	宮神楽保存会員数			関連事業:	宮神楽用具修繕	
目標値 7 :	平成 27 年度 25 (人)		⇒	平成 30 年度 25 (人)		
設定根拠 7 :	住民が減少していく中で、平成27年度と同人数程度を設定。					
進捗状況 7 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
25 (人)	25 (人)	25 (人)	(人)	(人)	(人)	
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	生野銀山塾					実施団体：	株式会社シルバー生野				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	鉱山で働いていた人の体験、鉱石の話、江戸時代まで行動内で使われていたサザエを使用したランプ作り体験などを講師により子供たちに学んでもらい、鉱山の歴史と鉱山と共に栄えた地域の歴史文化を継承する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	シルバー生野観光坑道への来場者数										
目標値：	平成 27 年度		75,750 (人)		⇒	平成 30 年度		76,000 (人)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
77,196 (人)	75,750 (人)	72,086 (人)	(人)	(人)	(人)						
2%	0%	-5%									
事業②：	山東町の文化遺産を巡るみどりのスタンプラリー					実施団体：	梁瀬地域自治協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	旧山東町内に現存する古墳や古寺名刹等 13 か所を訪ね、歴史の重さと地域に残る文化遺産を後世に継承するため、13 か所を記載し地図及びスタンプ台紙を配布し、スタンプラリーを実施する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	埋蔵文化財センターの入場者数										
目標値：	平成 27 年度		35,135 人		⇒	平成 30 年度		40,400 人			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
30,362 人	35,135 人	26,049 人	人	人	人						
-12%	0%	-22%									
事業③：	旧井上家住宅を活用した地域伝統食の普及啓発推進事業					実施団体：	あさご茅葺き保存会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	平成27年度に茅葺屋根の改修が完了した兵庫県有形民俗文化財である旧井上家住宅において、地域の自治会等と連携し、囲炉裏を使って地域の伝統食を体験するワークショップを開催する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	茅葺き保存会facebook投稿への平均「いいね」数										
目標値：	平成 27 年度		27 (いいね)		⇒	平成 30 年度		40 (いいね)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
20 いいね	28 いいね	28 いいね	いいね	いいね	いいね						
-18%	3%	3%									

事業④：	生野古文書研究					実施団体：	生野古文書研究会				
事業区分：	調査研究					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	生野町内に残る古文書の解読作業を、専門家の指導を仰ぎながら実施する。その成果を冊子にまとめ、地域の歴史遺産資料に資する。										
評価指標区分：	(リストから選択してください。)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	地域の古文書に興味を持つ住民の割合										
目標値：	平成 27 年度		5.0 (%)		⇒	平成 30 年度		8.0 (%)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
4.0 (%)	5.0 (%)	6.0 (%)	(%)	(%)	(%)						
-13%	0%	13%									
事業⑤：	奥銀谷古文書調査					実施団体：	奥銀谷地域自治協議会				
事業区分：	調査研究					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	旧家の建て替えにより蔵から発見された約10,000点の古文書を、神戸大学と連携して地域住民の手により整理調査と目録の作成を行う。調査結果についても、地域で展示活用を行う。										
評価指標区分：	(リストから選択してください。)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	奥銀谷地域の古文書に興味を持つ住民の割合										
目標値：	平成 27 年度		2.7 (%)		⇒	平成 30 年度		3.4 (%)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
2.5 (%)	2.7 (%)	3.0 (%)	(%)	(%)	(%)						
-6%	0%	9%									
事業⑥：	寺内ざんざか踊り用具の新調					実施団体：	山王神社ざんざか踊保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	寺内ざんざか踊りに使用する陣笠の新調を行う。また、練習の公開、地域の子供向け練習会を開催し、人材の養成を行うとともに、地域に根差した活動とする。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化(維持)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	山王神社ざんざか踊保存会 会員数										
目標値：	平成 27 年度		50 (人)		⇒	平成 30 年度		50 (人)			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度						
51 (人)	50 (人)	50 (人)	(人)	(人)	(人)						
2%	0%	0%									

事業⑦：	宮神楽用具の修理	実施団体：	宮神楽保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度		
事業概要：	平成 29 年で370年を迎える伝統行事である宮神楽の獅子頭、天狗面の修繕を行う。 地域の子供から大人までを対象に、毎年2～3週間練習を行い、伝統を将来へ継承していく。				
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	宮神楽保存会 会員数				
目標値：	平成 27 年度	25（人）	⇒ 平成 30 年度 25（人）		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
25（人）	25（人）	25（人）	（人）	（人）	（人）
0%	0%	0%			